

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 2 月 1 日 (2007.2.1)

【公開番号】特開 2001-170022(P2001-170022A)

【公開日】平成 13 年 6 月 26 日 (2001.6.26)

【出願番号】特願 平 11-357362

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/055 (2006.01)

G 0 1 N 24/00 (2006.01)

G 0 1 R 33/54 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/05 3 8 2

A 6 1 B 5/05 3 9 0

G 0 1 N 24/00 D

G 0 1 N 24/02 5 3 0 Y

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 30 日 (2006.11.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一定の磁場強度を発生する静磁場発生手段と、磁場強度勾配を発生する傾斜磁場発生手段と、高周波磁場を発生する手段と、前記被検体からの核磁気共鳴信号を検出する手段と、前記核磁気共鳴信号を用いて被検体の形態画像又は機能画像を再構成し結果を表示する計算・表示手段と、これら各手段を制御する制御手段とを備えた磁気共鳴イメージング装置において、

前記計算・表示手段は、前記被検体の検査部位の温度変化を算出する手段と、算出した温度変化を再構成画像と交互あるいは同時に表示する手段とを備えたことを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 2】

前記制御手段は、前記被検体の画像再構成用の核磁気共鳴信号を計測する間に、温度計測用の核磁気共鳴信号を計測する制御を行い、画像再構成用の核磁気共鳴信号を再構成した画像と、温度計測用の核磁気共鳴信号を計算して得られた温度情報とを前記計算・表示手段に表示させることを特徴とする請求項 1 記載の磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 3】

前記制御手段は、前記被検体から得られた核磁気共鳴信号を用いて、画像再構成用の信号強度データと温度情報算出用の位相データを作成し、信号強度データを再構成した画像と位相データから算出した温度情報とを前記計算・表示手段に表示させることを特徴とする請求項 1 記載の磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 4】

前記計算・表示手段は、前記再構成画像を前記表示する手段の全面に表示し、温度情報を前記再構成画像が表示された画面にウィンドウ画面として表示することを特徴とする請求項 1 ないし 3 いずれか 1 項に記載の磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 5】

前記計算・表示手段は、前記温度情報を、前記表示する手段に表示された再構成画像の

対応する位置に重ねて表示することを特徴とする請求項 1 ないし 3 いずれか 1 項に記載の磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 6】

前記計算・表示手段は、前記表示する手段を介した、再構成画像上の位置の指定を受け、指定された位置に対応する前記温度情報を、前記再構成画像が表示された画面に表示することを特徴とする請求項 1 ないし 3 いずれか 1 項に記載の磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 7】

前記計算・表示手段は、算出した温度変化を時間軸に対しプロットして前記表示する手段に表示することを特徴とする請求項 1 ないし 3 いずれか 1 項に記載の磁気共鳴イメージング装置。